

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

団体名 協和国際交流協会

担当者名 中島 直子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成 23 年 11 月 20 日 (日) 10 : 30 ~ 14 : 30
実施場所	筑西市協和多目的研修センター
参加者と人数	会員 10 名。 一般参加者 60 名。
派遣講師名と出身国	オレリー・ノエル (フランス) パーコフィー・エイキンス (ガーナ)
活動の内容	小さいお子さんから大人の方まで幅広い年齢層の方に参加して頂いているので、大人と子供のグループに分かれました。そして、それぞれに合った内容で「フランスの文化」、「ガーナにおける家族の絆」というテーマで講和をして頂きました。 講師を囲んで昼食をとり、交流を深めました。
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	毎回、楽しい時間を過ごすことができますが、特に今回はガーナの家族の絆についてのお話は震災を経験した日本人にとって心温まる内容となりました。またフランスの文化紹介(大人向け)では、今回初の試みで英語・フランス語・日本語を織り交ぜて講和を頂き、講和終了後の質疑応答では、英語・フランス語による活発な会話が飛び交いました。グローバル社会に向けての第一歩の経験となり、大変有意義なものになったように思います。
参加者の感想	フランス語で自分の名前を言ったり、「Bonjour」などあいさつの言葉を覚えられて、楽しかった。(子供参加者) ガーナの楽器演奏が楽しかった。(子供参加者) フランスの小学校は水曜、土曜、日曜が休みであるが、高校はバカロレア(大学入学資格試験)があるため休みも少なく一生懸命勉強するというお話は興味深かった。(参加者)
担当者の感想	ワールドキャラバンも 6 回目となり会を重ねるごとに、充実した内容を企画できており、参加者の皆様にも好評を得ていると思います。 毎年参加の方が多いのですが、高校生の参加が増えるともっと良いと思いました。

